

平成30年度研究科入試問題（第2次）

行政法（出題意図）

（人文社会科学研究科法経専攻 法政コース）

いずれも、行政法に関する基本的知識を問う問題である。

問1

現代の行政活動では、計画の持つ意義がますます高まっている。そこで問1では行政計画の意義について問うた。また行政計画の処分性、損害賠償の可否を問うことによって、行政救済法に関する基本的知識を問うた。

問2

法律の留保の意義についての理解を問うた。いかなる行政活動に法律の根拠が必要であるかについては諸説あるが、補助金交付や行政指導など具体例を挙げて、諸説の相違点を論じることができるかを問うた。